

市第139号議案 補正予算説明資料

| |
|-----------------|
| 市民・文化観光・消防委員会資料 |
| 平成26年12月18日 |
| 消 防 局 |

歳出関係

| 款 項 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補 正 額 の 財 源 | | | | 節 | | 説 明 |
|----------|------------------|--------------|------------------|-------------|---------|---------|--------------|----------|--------|-----------------------------|
| | | | | 特 定 財 源 | | | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| | | | | 国県支出金 | 市 債 | そ の 他 | | | | |
| 14 消 防 費 | 千円 39,115,255 | 千円 33,000 | 千円 39,148,255 | 千円 - | 千円 - | 千円 - | 千円 33,000 | | | 千円 |
| 1 消 防 費 | 39,115,255 | 33,000 | 39,148,255 | - | - | - | 33,000 | | | |
| 3 警防活動費 | 1,176,956 | 33,000 | 1,209,956 | - | - | - | 33,000 | 11 需用費 | 13,536 | 短時間豪雨対策強化事業費 (水害対策による補正) |
| | | | | | | | | (1) 消耗品費 | 13,536 | |
| | | | | | | | | 18 備品購入費 | 19,464 | |

短時間豪雨対策強化事業について

1 事業背景・目的

近年、時間雨量 50 ミリを超える短時間豪雨が全国的に増加傾向にあり、都市部では道路冠水等、特有の浸水被害も多く発生していますが、本市においても、台風第 18 号通過に伴う大雨により、土砂災害が発生するなど、被害が顕在化しています。

本市には、短時間豪雨などにより浸水することが予想される区域が広範囲に存在し、市内全域で浸水や冠水などが発生する危険性があり、水害対策を強化することは喫緊の課題となっています。

そのため、短時間豪雨などによる浸水時に被害を最小限に抑えるとともに、迅速な救出・救助活動と、円滑な避難体制を強化するため、救命用ゴムボート等の資機材を整備するものです。

2 整備内容

| 物品名 | | 数量 | 配備の考え方 |
|-------------------|--------|-------|---------------------------|
| 救命用ゴムボート (付属品) | 救命胴衣 | 38 式 | 浸水（洪水・滞水）警戒区域を管轄する消防署所に配備 |
| | 救命浮環 | | |
| | 救助用ロープ | | |
| | 胴付長靴 | 100 着 | 18 特別救助隊及び特別高度救助部隊に配備 |

※ 各資機材の詳細については、裏面参照

3 期待される効果




消防車に積載している空気ポンペを活用し、迅速に展張することができる救命用ゴムボートを配備することにより、浸水した場所からの迅速な救出・救助活動が展開できます。

また、胴付長靴を整備することにより、土砂災害現場等での活動隊員の安全を確保するとともに、より円滑な救助活動を実施することができます。

4 事業費

33,000千円（短時間豪雨対策強化事業費）

短時間豪雨対策強化資機材

| 品目 | イメージ・説明 | |
|------------------------|--|--|
| 救命用 ゴム ボート 一式 |   | <p>【救命用ゴムボート】 水難事故や水害時において、要救助者の救出や資機材の搬送に用いる機動性に優れたボートです。 空気呼吸器用ポンベを用いて容易に拡張することができます。</p> <p>【救命胴衣】 要救助者や活動隊員に着用させ、活動時の安全を確保します。</p> <p>【救命浮環（救助ロープ）】 河川の中州などに取り残された要救助者の救出に使用するものです。 浮環に救助ロープを結び付け、ボート等に要救助者を引き寄せ、救出します。</p> |
| 胴付 長靴 |  | <p>【用途】 風水害による土砂災害現場等での活動時に着用することで、泥水の浸潤と活動隊員の体温低下を防ぐものです。</p> |